

## 夢洲 IR 候補地の土壌対策 800 億円

12月14日「大阪 IR カジノ膨らむ事業費」をレポートした。レポートで紹介した読売 11 日夕刊（写真）続報が、20 日朝刊に掲載された。19 日に NHK ニュースでも報道されたが、読売記事を紹介する。



大阪府と大阪市が誘致を進めるカジノを中核とする統合型リゾート (IR) を巡り、候補地の人工島・夢洲（大阪市此花区）の土壌対策費を市が約 800 億円と算出していることがわかった。土地を所有する市が安全面などを考慮して全額を負担し、来年 2 月の市議会に関連予算案を提出する方針だ。

IR の候補地は夢洲（約 390 ㍓）北側の約 49 ㍓。国が設置を認可すれば、市は事業者と定期借地契約を結び、2029 年度の開業を目指す方針。候補地周辺では今年 1 月、市の土壌調査で基準値を超えるヒ素やフッ素が検出された。候補地も同じ時期に造成されたため、汚染されている可能性が高いという。別のボーリング調査では、液状化の恐れがあることも判明した。関係者によると、市が汚染土壌の処分費などの概算額を計算したところ、約 800 億円かかることがわかったという。

市はこれまで、夢洲などの市有地を民間に売却・賃貸する際、その後に土壌汚染が見つかって市が費用を負担しない「瑕疵担保責任の免責」を契約に盛り込んできた。しかし、今回は、対策が必要なことが契約前から確実な上、IR 施設は多数の観光客らが来場し安全確保が求められることなどから、市が土地所有者の責任として、対策費を負担することにしたという。

市は 3 月に事業者を追加募集した際、募集要項に市の負担方針を明記。最終的に、以前から手を挙げていた MGM リゾート・インターナショナル（米国）とオリックス連合以外に応募がなく、同連合が事業者が決まった。

記事を読んだあと、大阪府・大阪市「大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業募集要項」2021 年 3 月 19 日修正版を手にとった。第 2「10 本事業における費用負担（2）大阪市有地の使用に係る費用」に次のように書かれている。

設置運営事業者は、本事業の実施に必要な大阪市有地の使用に当たり、大阪市と事業用定期借地権設定契約の締結等必要な手続きを行った上で、事業用定期借地権設定契約に定めるところに従い賃料等を大阪市に対して支払う。

なお、IR 施設を整備するに当たり支障となる地中障害物及び土壌汚染等に起因して設置運営事業者の負担が増加すると見込まれる場合は、設置運営事業者の施設計画や施工計画等を踏まえ、対応方法等について事前に協議の上、大阪市の設計・積算基準等により、大阪市が当該増加負担のうち妥当と認める額を負担するものとする。詳細については、事業条件書等において示す。

（2021 年 12 月 22 日）